

普及活動情勢報告（令和8年8月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

直販野菜の出荷量を増やそう ～鏡村直販店組合研修会～



施肥について説明する
普及指導員

8月3日、高知市中山間地域構造改善センターで鏡村直販店組合の研修会が開催され、18名の出荷者が参加しました。

普及所からは施肥の基礎について、また土壌分析の必要性について説明し、積極的な分析を呼びかけました。そのほか夏以降のは種に適した品目や、販売データから考えられる有利販売品目について紹介しました。

参加者からは、連作と肥料の関係や、栽培技術に関する質問があり、栽培への高い意欲がうかがえました。

今後も普及所は、直販所の販売額向上を支援していきます。

担い手の確保・育成に向けて ～春野地域指導農業士及び就農予定者との意見交換会～



意見交換会の様子

8月4日、普及所は春野地域指導農業士及び就農予定者との意見交換会を開催し、生産者及び関係機関27名が参加しました。

普及所からは、新規就農者支援チーム会の活動、新規就農者や研修生の状況、産地提案書の改定などについて情報提供を行い、実践研修でのチェックシートの活用や中古ハウスの情報収集について意見交換を行いました。

生産者からは「チェックシートは研修生だけでなく、全戸で導入すべき」「中古ハウスの貸出を進めるには生産者や関係機関の連携が不可欠」などの意見があり、活発な意見交換が行われました。

今後も普及所は、生産者や関係機関と連携し、産地の維持・発展に向けて新規就農者確保への取組を進めていきます。

産地の課題を関係機関で情報共有 ～土佐山ユズチーム会～



チーム会の様子

8月6日、高知市土佐山地区で、高知市土佐山柚子生産組合、JA高知市、ユズ果汁販売企業、高知市、高知市地域支援企画員、普及所が参加し、土佐山ユズチーム会を開催しました。

本会は普及所が事務局となり、産地の情報や課題を共有し、解決に向けた合意形成を行う場として年7回開催しており、各機関からの議題として、取組の進捗状況や予定等を協議します。

今回のチーム会では、部会員向けに毎月発刊している産地・技術情報誌「ユズだより」に、普及所から提案した栽培管理力の向上や労働力確保に関する情報の掲載が決まりました。

今後も普及所は、関係機関とのコミュニケーションを強化し、産地の発展に取り組んでいきます。

実証ほ試験の報告及び次作に向けて ～ J A 高知県春野ナス部会 反省会～



反省会の様子

8月17日、J A 高知県春野ナス部会が反省会を開催し、生産者7名が参加しました。

普及所は、実証ほ試験の結果として、天敵導入による害虫密度低減効果及び慣行防除との経費比較を報告しました。また、次作に向けた初期管理に関する情報提供を行いました。

生産者からは、「経費にすると結構な差になる」などの感想があり、天敵導入による経費削減に興味を持たれていました。

今後も普及所は、J A と連携し、生産力向上に向けて生産者を支援していきます。